

## 「節水」についてどう考える

沖縄県 大里中学校 三年 後浜 虹春

今年、私がふと見かけたニュースで、「沖縄県、ダム貯水率低下」という記事があった。そのニュースの内容は、沖縄県本島地域は令和5年から少雨傾向にあり、ダム貯水率が低下し続けているというもので、節水と呼びかけてもいた。このニュースを見て私は、このままダムの水がなくなり私たちに水が簡単に使えない生活が訪れたら、と少しだけ不安になった。

そこで私は、生活している中で節水するためには、どうすれば良いのかと考え、まず、一人の人が1日に使う水の量について調べてみた。

東京都水道局の記事によると、令和3年度で、家庭で一人が1日に使う水の量は、平均221リットル程度だということが分かった。では、私たちは何に一番水を使っているのだろうか。そのことについてインターネットで調べてみると、一番水の使用量が多い項目は、風呂。その次にトイレ、そして炊事、洗濯、その他という順で内訳されているということが分かった。

その事をふまえて、私の生活の中で水を必要以上に使っている事がなかか考えてみた。まず、入浴時に、よく水を出しっぱなしにすることがある。すると時々親が、今月の水道代が高かったという話をしており、私が取ったその行動も原因の一つだと思った。さらに、私はよく家の手伝いで皿洗いをするのだが、そのときも水を出しっぱなしにしながら皿を洗うので、よく母に怒られてしまう。「水を出しっぱなしにする」ということをしなければ、それこそ節水につながるのではないだろうか。その他にも、ペットボトルの飲み物を最後まで飲み切らず、中身を捨てている人や、蛇口を閉め忘れていて、蛇口の水を無駄に使っている人を見かけたことがある。そこでも、ペットボトルの飲み物は飲み切るというところまで考えて買う、蛇口は必ず閉める、蛇口の水は無駄に使わないなど、少しのことでも意識すれば、全部節水につながると思った。

私の身の周りではこのようなことが起こっているが、世界ではどうだろうか。まず日本では、2020年で78,40㎥/年の水が使われているそうだ。アメリカでは、444,29㎥/年の水、中国では、581,29㎥/年の水、インドでは、761,00㎥/年の水が使われていると分かった。その中で、無駄に使われている水がどのくらいあるのだろうか、それらの水はどうすれば無くなるのだろうか、と思った。

以上のことから私は、節水をするために、入浴時や皿洗い時に、水を出しっぱなしにすることをやめようと思った。さらに、ペットボトルの飲み物は飲み切ることができるときだけ購入すること、または、水筒を持参すること、蛇口の水は無駄使いせず、使い終わったらしっかりと閉めるということを意識したいと思った。そして私と同じように、水を出しっぱなしにして何かをする、したことがある人が他にもいると思う。その人たちも、そうでないという人も、みんながそれぞれの生活で、どんなに小さなことでも、水を大切に使う、水を無駄にしないという意識をして行動するだけで、自分の身の周り、自分の国、そして世界で使われている無駄な水を少しずつ減らしていけると思う。

五月現在、沖縄県のダムの貯水率は60%を超え、だんだん増えているそうだ。しかし、まだ100%ではないし、これからまた貯水率が低下するかもしれない。そうやって、生活で水が簡単に使えなくなるといふことが無いために、今から私にできることは、水は必要な分だけ使い、水を無駄にしないという「節水」を意識しながら生活することだと思う。

あなたは「節水」についてどう考える？